

☆EVENT☆ インタラクティブ物質科学・カデットプログラム後援

平成 25 年度第 2 回関西若手物性研究会を開催しました。

2013 年 11 月 9 日(土) 12:55~17:50

大阪大学豊中キャンパス 基礎工学部国際棟 セミナー室

テーマ：スピンの織りなす物理

講演者：吉田靖雄 氏（東大 物性研究所 助教）『スピンを見る顕微鏡』

宇田川将文 氏（東大 工学系研究科 助教）『Ice, Spin Ice and Metallic Ice』

木村健太 氏（阪大 基礎工学研究科 助教）『量子揺らぎを伴うスピンアイス状態』

田辺賢士 氏（阪大 未来戦略 特任助教）『マグノンの波数変調とマグノンホール効果』

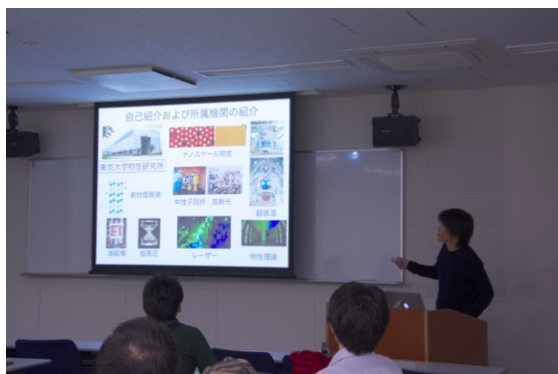
<http://www.kohnolab.mp.es.osaka-u.ac.jp/~jf/seminar/>



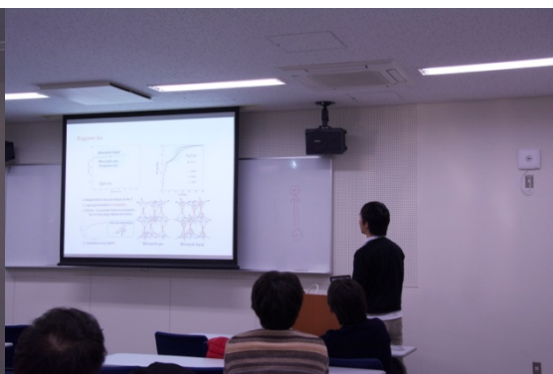
セミナーの様子



田辺賢士氏



吉田靖雄氏



宇田川将文氏

<主催した学生から一言>

「スピンの織りなす物理」というテーマで、4名の若手研究者が発表を行った。その中で田辺氏の発表において、マグノンの波数変調が実際に可能であること、しかしまだそれを応用するには困難が多いことが分かった。こうすればいいのではいかという議論が行われたのが印象に残った。また、参加人数は前回と比べて減少したものの参加者からは、「スピンアイスに関する知識を全く持っていなかったが、そういう現象を知ることができて、とても有意義でした」や「次回も参加したい」という声が聞かれとても励みになった。

(基礎工学研究科 河野研究室 D2: 藤本純治)